

( 令和4 ) 年度 児 童 館 事 業 年 間 活 動 報 告 書 ( 京 都 市 住 吉 ) 児 童 館

	活動名	実施回数	参 加 人 数										内 容	成 果 と 課 題				
			乳幼児	小1～3年		小4～6年		中学生	大人	ボランティア					合計			
				自由来館	学童クラブ	自由来館	学童クラブ			中学生	大学生	大人						
基 本 活 動	(2) 遊びの教室活動																	
	あそびクラブ	3			36		10							46	集団遊びの紹介や工作	<p>・毎週金曜日に住吉公園でボールクラブ（ドッジボール）を行っていたが、令和4年9月以降、公園の工事が行われている為、“ボールクラブ”は中止し、“みんなあそび”へと変更した。子どもたちの興味のある遊びやハマっている遊びを題材とし、1ヶ月のスケジュールを決めている。また、高学年の子どもたちと遊びを考え、高学年主導で遊びを行う時もある。課題は、雨天時に公園で実施出来ず遊戯室で行う事も検討しているが、自由来館児童が多い為、遊ぶ部屋確保が出来ない点である。</p> <p>・コロナ禍で実施出来ていなかった行事を少しずつ再開した。“駄菓子のみきち”は子どもたちからの再開への希望の声が多く、コロナ前と実施方法を変更し行った。元学童クラブの中学生にも声をかけ、高学年クラブと中学生がお店番となり、子どもの参画も行うことが出来た。課題は、自由来館児童の参加が少なかつた為、チラシを学校に持って行き配布してもらう等の広報をする必要があると感じた。</p> <p>・各種クラブ随時実施した。どのクラブもたくさん参加があり、それぞれが個性を伸ばしたり、実力を発揮する機会となった。特に昨年度発足した高学年クラブは子どもたちの期待値も高く、様々な行事での活躍が見られた。居場所作りを目的として発足したが、高学年の成長していく姿を見ることができ職員一同感動している。低学年は高学年の姿を見て、高学年になれば出来ることが増えて楽しそうだと思っている。縦割りでの生活の中で良い効果が現れている。</p> <p>・日々たくさんの中高生世代の来館がある。卓球部の来館が多く、声をかけ卓球クラブで小学生に教えてもらう事が出来た。今後も様々な場面で異世代交流を増やしていきたい。</p>		
	みんなあそび	8	11	140	3	13								167	毎週金曜日に住吉公園で団体遊びを行う			
	ボールクラブ	9	14	172	22	10									218		毎週金曜日に住吉公園でドッジボールを行う	
	オニム道場	2		27											27		オニムを主に1年生に指導・練習	
	マンカラ道場	2		25											25		マンカラを主に1年生に指導・練習	
	卓球道場	4	9	25											34		卓球大会に向けて指導・練習	
	(3) 行事活動																	
	七夕の集い	1			66		10								76		七夕にちなんだシアターやゲーム大会	
	マンカラ大会	1		45		8									53		マンカラ道場をした後に試合形式で成果を披露する	
	オニム大会	1		57	4	7									68		オニム道場をした後に試合形式で成果を披露する	
	ハロウィン仮装大会	1		67		10									77		班毎に様々な仮装をする	
	クリスマス会ステージ会議	1		22		7									29		小学生によるステージ発表に向けての会議	
	クリスマス会ステージ練習	10		87		35									122		小学生によるステージ発表の練習	
	クリスマス会	1	6	62	12	37						6			142		人形劇鑑賞やステージ鑑賞、ビンゴゲーム等	
	大掃除	1		53		8	6								67		伝統行事である1年の締めくくりの大掃除	
	お正月あそび	1		57		7									64		百人一首や福笑いを楽しむ	
	卓球大会	1		10	5	2		1							18		卓球道場をした後に試合形式で成果を披露する	
	学生と遊ぼう	1		53		10									63		龍谷大学の学生による遊びの紹介	
	節分の集い	1		65		7						1			73		伝統行事の節分の豆まきを楽しむ	
4館交流(ZOOM)	1		3	11										14	同法人の4館で交流を行う			
駄菓子のすみきち	1		1	55		8								64	駄菓子屋さんごっこをし、生活体験を行う			
つるべえのかたるべえ	8		416		55									471	職員による素話、帰りの会の前に実施			
(4) クラブ活動																		
工作クラブ	40		4	131		32								167	季節に沿った工作を行う			
高学年クラブ	随時			55										55	高学年の居場所作りとして活動			
ガーデニングクラブ	4		43		4									47	庭の花壇で、花や野菜を育てる体験をし、収穫する喜びを培う			
卓球クラブ	9		46	40	34		3							123	卓球を通して、心身ともに成長を促す			
(5) 地域間交流促進活動																		
(6) 障害のある児童の居場所づくりと活動への参加促進	随時																	
(7) 思春期児童の活動支援																		
5時以降利用者	毎日	16	206	0	606	14	968	43	0	0	0	1853						
助産師学校訪問	1						3					3						
中高生世代と赤ちゃんのふれあい	5	23					18	27				68						
合 計	118	45	366	1710	708	310	998	90	0	0	7	4234						
推 進 活 動																		
合 計																		
子ども育成機能 合 計	118	45	366	1710	708	310	998	90	0	0	7	4234						

\*注 基本活動は、指針に基づき(2)遊びの教室活動(3)行事活動(4)クラブ活動(5)地域間交流促進活動(6)障害のある児童の居場所づくりと活動への参加促進(7)思春期児童の活動支援に分類して記入すること。  
 推進活動は、指針に基づき(9)地域を知る活動(10)移動児童館活動に分類して記入すること。  
 指定活動は、指定児童館のみ別途報告すること。

( 令和4 ) 年度 児 童 館 事 業 年 間 活 動 報 告 書 ( 京 都 市 住 吉 ) 児 童 館

	活動名	実施回数	参 加 人 数										内 容	成 果 と 課 題	
			乳幼児	小1～3年		小4～6年		中学生	大人	ボランティア					合計
				自由来館	学童クラブ	自由来館	学童クラブ			中学生	大学生	大人			
子 ど も 家 庭 支 援 活 動	(1) スキップクラブ (幼児クラブ)	60	297								2	2	545	2歳以上のお子さんとそのお母さん対象 1歳児とその保護者 0歳児とその保護者 手遊び体験読み聞かせ、今日の遊びなど  3月に次年度に向けて体験会を実施  子育てに関する本、雑誌の貸し出し イベントのポスター掲示や子育て情報などの掲示 不要になったおもちゃや絵本をリユースする日 SKYおもちゃ病院によるおもちゃ病院を開催 利用者の交流場となるようランチタイムを実施 干支の着ぐるみを用意して写真撮影をおこなう ハロウィンの仮装をし、公園でウォークラリーを楽しむ。ポイントには児童館運営協力委員さんが協力。 中学生と赤ちゃん、その保護者が年間を通じてふれあうプログラム。 学童クラブ保護者と高学年がボランティアで参加。館庭で焼いた焼き芋を地域のかたへふるまう。 毎年開催の夏祭りはコロナ感染拡大のため中止した。  ・コロナ感染状況が少しおさまり、乳幼児クラブは予定の全日数を行うことができた。夏休みに行く小学生との交流は小学生が感染の可能性がありスキップクラブではできなかった。スキップクラブや大きいほっぺくらぶは年間通してほぼ同じメンバーだったが、小さいほっぺくらぶは9月には定員いっぱいになった。外に出て他の乳幼児親子と交流したいと思う家庭が多くなったと思われる。また、体験会でも0～1歳の申し込みが多いので、令和5年度は0～1歳のクラスを増やし、2歳以上は1クラスの運営に変更する。  ・「中学生世代と赤ちゃんのふれあい」では、中学生の時に住吉児童館のこの企画に参加していた子どもたちが親になり参加した親子が2組いた。自分たちが経験したことを今の中学生に伝えたいとのことだった。内容としてはデパートに出かけたりしたことが好評だった。中学生が経験者で受験生が多かったため息抜き来たと言っていた子がいたが、また、新しい中学生が参加してくれるように宣伝が必要。  ・ランチタイムは机の距離を離したり換気するなどして利用できるようにしたが、以前よりは少なくなった。ウォーターサーバーもほぼ利用が無くなり、コーヒーマシーンも中止した。  ・アンケートでは乳幼児クラブのことが主に感想として書かれていたが、どの活動もほぼ好評で、児童館で行った遊びを家でもしているなどの意見があった。ただ、以前に行っていた行事など知らないため、少しでもできること、行ける所があるというだけで満足しているようにも思う。"スタジオすみよし"や"ハロウィンウォーク"などは実施したが、ヨガやリズムなどコロナ禍前に好評だった行事を復活させ、乳幼児を持つ家庭が児童館を利用しやすいように戻していきたい。	
	大きいほっぺくらぶ (乳児クラブ)	30	150		5								309		
	小さいほっぺくらぶ (乳児クラブ)	30	243		4								501		
	スキップクラブ体験会	1	6										12		
	大きいほっぺくらぶ体験会	1	13										25		
	小さいほっぺくらぶ体験会	1	14										30		
	子育てライブラリー	随時													
	子育て情報ボード	随時													
	リユースデー	6	33										65		
	おもちゃ病院	6	23	1		1							91		
	ランチタイム	毎日	8										16		
	スタジオすみよし (2) ハロウィンウォーク	1	27	8		7							69		
	中学生世代と赤ちゃんのふれあい	1	78										111		
	中学生世代と赤ちゃんのふれあい	5	23				18						68		
	すみよし焼いもデー	1	37	57	9	44	1	6					213		
合 計		143	952	66	18	52	1	24	901	0	2	39	2055		
(3)子育て家庭相談・援助活動	子どもの年齢	件数	受 理 及 び 相 談 経 路				件数	相 談 内 容			件数	つないだ機関等		件数	
	乳児 幼児		児童館にて直接受理 児童相談所 保健所				16	健全育成問題 家庭養育問題 成長・発達問題 教育問題 非行・問題行動 その他			11	児童相談所 保健所			
	小1～3年 (自由来館)		子ども支援センター								4	子ども支援センター 幼稚園・保育園		1	
	小1～3年 (学童)	14	主任児童委員 その他								1	小学校 中学校 総合支援学校 その他 { デイサービス }		12	
小4～6年 (自由来館)	1														
小4～6年 (学童)	1														
中学生															
高校生															
件数 計		16	-					-			16	-		15	
(4)子育てグループを育成・支援する活動	グループ名	構成人数		活 動 内 容				育 成 ・ 支 援 内 容			成 果 と 課 題				
推 進 活 動	活動名	実 施 回 数		活 動 内 容				成 果 と 課 題							
	(5)子育てと健全育成に関する啓発活動														

※注 基本活動は、指針に基づき(1)乳幼児とその保護者を対象とする活動〔①乳幼児クラブ活動 ②乳幼児の広場活動〕(2)家族参加を促す活動に分類して記入すること。

(令和4)年度 児童館事業年間活動報告書 (京都市住吉)児童館

地域福祉社促進機能	基本活動	活動名	実施回数	主催	参加人数						連携団体	成果と課題		
					乳幼児	小1~3年 自由来館学童クラブ		小4~6年 自由来館学童クラブ		中高生			大人	合計
	(1)地域住民との交流を促進する活動	ハロウィンウォーク	1	京都市住吉児童館	78						30	108	・運営協力委員会 ・住吉幼稚園  ・近隣の児童館・近隣の保育園・地域の民生児童委員協議会・子ども支援センター  ・今年度もハロウィンウォークを実施できた。今年度も地域の方が協力的に参加して下さり、地域の方と乳幼児親子が交流できる機会となっている。昨年度に引き続き、今年度も住吉児童館運営協力委員会の協力の下、地域の幼稚園と乳幼児親子の交流も実現できた。今年度は天気も良く、幼稚園の園児と乳幼児が手つないで公園まで歩いた。移動距離は短く、乳幼児親子さんと地域の方との交流の時間がゆっくり取れ、好評だった。  ・夏まつりは開催予定だったがコロナウイルスの感染者が全国的に増えたため実施出来ず地域の方に参加して頂けず、児童館と地域とが交流できるイベントが少なかった。次年度は、いろいろな対策を講じながら、実施できればと思う。	
		「みんなおいで いっしょにあそぼ」	6	実行委員会							57	57		
		合計	7		78	0	0	0	0	0	87	165		
	(2)ボランティア活動の推進	活動内容				活動人数					・人形劇サークル「おさるのかごや」は、昨年度に比べ、公演回数が増えたため積極的に練習をされていた。 ・龍谷大学の野外活動部は、週に1回児童館訪問をし、子どもたちと沢山遊んでいる姿があった。 ・今年度はイベントがあまりなく龍谷大学の野外活動部に活躍してもらおう場が無かった。来年度は行事も少しずつ行っていく予定なので野外活動部や他の大学の学生にボランティアで活躍してもらえる機会を作っていきたい。			
		母親クラブ内サークル 人形劇「おさるのかごや」				中高生	大学生	大人	その他	合計				
		日常活動のボランティア参加 (クラブ、及び行事のボランティア参加を含む)				4	10	53		67				
				合計	4	10	183	0	197					
	(3)地域との連携を促進する活動	連携団体等		連携内容						成果と課題				
		伏見住吉小学校 藤ノ森小学校 附属桃山小学校 住吉母子寡婦福祉会 伏見住吉少年補導委員会住吉支部 住吉女性会 住吉交通安全推進委員会 住吉民生児童委員会 住吉学区自治会連合会・伏見住吉小学校 PTA・伏見中学校・伏見住吉幼稚園・住吉保育園・住吉西保育園・公園愛護協力会・自治防災会・住吉消防分団・保護司会		地域の各団体へは毎月、児童館のお便りを配布。活動内容をお知らせしている。また、館の行事に応じて各団体に活動への協力をお願いしている。(例:夏祭り、交流会など)小学校とは日頃より関係を密にし問題にともに取り組めるように心がけている。また、学童クラブと自由来館児についての情報交換会議(連絡協議会)を定期的に行なっている。						日頃の連携により、地域の諸団体の児童館への理解は深く、大変協力的である。近隣の中学校では児童館の認知度がある程度上がってきている印象で、夕方からの利用も増えてきている。来年度以降も地域の伏見中学校と連携をすすめていきたい。伏見中学の卓球部の子どもが遊びに来ている事も多い。卓球クラブに参加してもらい、小学生にとってより良い練習場所にして、中学生の居場所作りもしていきたい。また、近隣の保育園、幼稚園との情報交換を今後も行っていき児童の対応をしていきたい。				

	基本活動	組織名称		構成団体・個人		会議／取組頻度	議題／取組内容	成果と課題
		(4) 児童館を支える地域組織作り	住吉児童館地域運営協力会		住吉学区自治会連合会 住吉学区市政協力委員連絡協議会 母親クラブ		年1回	児童館の年間の取り組みについて
地域福祉促進機能	推進活動	会場提供・備品貸出等		使用目的		提携先(団体・機関等)		成果と課題
		児童館学童A組 児童館B組・図書室・印刷機 児童館図書室・学童B組 子育て情報ボード	児童館図書室・学童B組 子育て情報ボード	会議 会議準備、会議 乳幼児親子の昼食、おもちゃ病院 地域の子育てに関する情報、イベント情報、クラブ員募集、育児用品リサイクル情報	住吉民生児童委員 住吉少年補導委員会 SKYおもちゃ病院 乳幼児クラブ登録者・自由来館乳幼児親子など	・ランチタイムで乳幼児親子が自由に部屋を使用できるよう開放していたが、利用は少なかった。例年であれば、乳幼児クラブ終了後に遊戯室をそのままランチルームとして利用されることが多いので、少しずつ開放していることを周知していき乳幼児親子のコミュニケーションの場になるようにしていきたい。ランチと遊ぶ部屋を同じにすることで、子どもたちが目の届く範囲にいるため利用しやすいという声があった。今後も利用者の声に耳を傾け、ニーズに合った環境づくりをしていきたい。 ・地域の方が会議で使いやすいように長机、パイプ椅子も使用出来るようにしたため、負担などがあまりなく会議を行っていた。		
(6) 地域調査活動	調査名	調査目的	調査対象	調査主体	調査方法	成果と課題		
	子育て講座等アンケート 児童館利用実態調査	活動の充実を図るため、子育て家庭のニーズを知る 利用実態を知るとともにニーズを探る	参加者 乳幼児親子	児童館 "	記述式アンケート グーグルフォーム "	・毎年行っているアンケートで、ヨガ教室の復活をして欲しいと要望もあった。コロナウイルスの感染拡大防止のため出来ない活動もあるので少しずつコロナ前の活動に戻していきたい。次年度も利用者の要望に沿った活動をしていきたい。 ・今年度グーグルフォームを活用しアンケートを実施した。紙面での解答より回答率は良く、集計も行いやすかった。職員の作業削減になったのではないかと思いますので次年度も活用していきたい。 ・児童館利用実態調査の結果を乳幼児親子向け、学童クラブ向けにそれぞれ書面にまとめ、お知らせした。		

	広報物の種類	発行頻度	広報対象	広報方法	広報内容	成果と課題
広報活動	■児童館ニュース	■月1回	■児童館を利用する児童や保護者, 地域住民, 関係機関	児童館にてお便りコーナー設置 地域関係機関・団体へ配布 京都市児童館学童連盟のホームページの活用	■毎月の児童館の予定	▽お便りを関係機関へ配布することで活動内容を知って頂き、児童館への理解を深めてもらっている。今年度もクリスマス会開催のチラシを小学校で全徒配布してもらおうことで、受け付けを当日参加する子どもが沢山いた。またその後の自由来館も増え、児童館が地域住民の居場所となっている。中学生の利用も増えてきているので今後も中高生世代の居場所作りも必要だと思う。
	■乳幼児インフォメーションBoX	■月1回	■児童館を利用する乳幼児親子や地域に住む乳幼児親子	児童館にてお便りコーナー設置 保健所・幼稚園へ配布 京都市児童館学童連盟のホームページの活用	■毎月の児童館で行う乳幼児親子向け行事の予定	
	■学童だより	■月1回	■学童クラブ登録児の保護者, 小学校, 関係機関		■毎月の学童クラブの行事予定、及び行事参加の出欠	▽日頃より保健センター・子ども支援センターとの連携を心掛けていることで児童館の行事を広報物を通して紹介して頂ける。保健センターで情報を得たり、支援センターが発行しているふしみっこを見て来館する乳幼児親子さんも多い。
	■スキップクラブ(幼児クラブ)だより	■月1回	■幼児クラブ登録児の保護者, 関係機関	各クラブ員へ配布 また、関係機関へ持参	■毎月の幼児クラブの取り組み予定や、持ち物のお知らせ、親子参加行事の案内	▽有料指定ごみ袋配布時にも乳幼児向け親子参加行事の案内や乳幼児クラブの案内を児童館紹介パンフレットと同時配布している。このときに児童館に初めて来館した方が多いので、広報活動として有効である。案内することで乳幼児クラブを知ってもらえ、その後の参加が増えた。
	■ほっぺくらぶ(乳児クラブ)だより	■月1回	■乳児クラブ登録児の保護者, 関係機関		■毎月の乳児クラブの取り組み予定や、持ち物のお知らせ、親子参加行事の案内	▽各広報物については、小学校や伏見区役所、近隣の幼稚園などに掲示をお願いしている。今年度はコロナウイルス感染防止の観点から行事をあまりできていなかった。来年度はコロナの感染拡大も緩和されるので広報活動をしっかり行っていき、行事の参加に繋げたい。
■その他 行事毎にポスター・チラシ作成	■随時	■地域(焼いも・乳幼児対象イベント・小学生参加対象イベント 中高生対象イベントなど)	広報物によって変更 保健所・子ども支援センター・地域情報誌・公園の柵に掲示 京都市児童館学童連盟のホームページの活用	■行事の案内	▽ネットで地域の情報を得ているお母さんも多い。児童館のホームページを活用することに重点を置き広報活動をしている。利用者からのアンケートからホームページを見て参加したという声も聞けた。乳幼児の保護者のニーズに合わせて書面だけでなく情報を得るツールとしてホームページを利用していく。	
■伏見子ども支援センター発行の情報誌への記載依頼	■毎月	■伏見区本所地域の乳幼児保護者	保健センター、伏見区内の幼稚園、保育園、児童館で配架、配布	■毎月の乳幼児親子を対象にした行事の紹介		